

伝統音楽国際シンポジウム

学校における 伝統音楽の教育



箏を中心とした和楽器合奏の 義務教育9年間プログラム開発を通して

趣旨

「創造としての伝統」をテーマに、学校教育で伝統音楽を

どう位置づけることができるかについて議論し、伝統音楽教育についての理解を深める。

大阪教育大学と附属平野小・中が連携し、5年間かけて「だれでもできる和楽器合奏プログラム」を開発してきた。

この成果の発信を機会に、伝統音楽を学校教育にどう位置づけたらよいかについて国際シンポジウムを行う。

参加費
無料

オープニング **箏の記念演奏** 吉村七重

第Ⅰ部 **基調講演** 21世紀の今、学校で伝統音楽教育を行う意義

吉田純子(朝日新聞文化部記者)

ジャーナリストの目からみた世界における日本の伝統音楽

石田一志(音楽評論家)

音楽文化からみた世界における日本の伝統音楽

第Ⅱ部 **大阪教育大学
和楽器プロジェクトの成果の発表**

平野小の児童、平野中学校の生徒による和楽器合奏

第Ⅲ部 **シンポジウム** 海外の授業実践映像とともに

韓国の伝統音楽教育の現状と課題(通訳付き)

韓国 京仁教育大学教授 Dr. Kwon, Doug-won

ハワイの伝統音楽教育の現状と課題(通訳付き)

ハワイ プナホウ小学校 Dr. Karen S. Drozd

箏演奏における伝統と創造

箏演奏家 吉村七重

日時
2014.1.11 土

13:00-17:30 開場 12:30

会場
**大阪教育大学附属
平野小学校体育館**
(大阪市平野区流町1-6-41)



申込方法

氏名、所属、連絡先を明記のうえ、
下記のメールアドレスへ。

問合せ先 小島律子
ritsuko@cc.osaka-kyoiku.ac.jp

主催:大阪教育大学和楽器シンポジウム実行委
員会・大阪教育大学和楽器プロジェクト(代表
小島律子・大阪教育大学教授)

後援:大阪教育大学、日本学校音楽教育実践学
会、大阪府教育委員会、大阪市教育委員会、堺市教
育委員会

*助成: 科研費基盤研究C課題番号23531255